# 早期景気観測調査

【8-9月期調査結果報告書】

令和6年9月 甲府商工会議所

# ◆調査要領

山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査 として中小企業の明日の経営活動に資する。 1. 調査の目的 :

2. 調査実施機関: 甲府商工会議所

3. 調査実施時期: 令和6年9月17日(火)~9月30日(月)

4. 調査対象 当所会員 115 事業所

5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式

6. 有効回答数 : 69 件

7. 有効回答率 : 60.0 %

8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

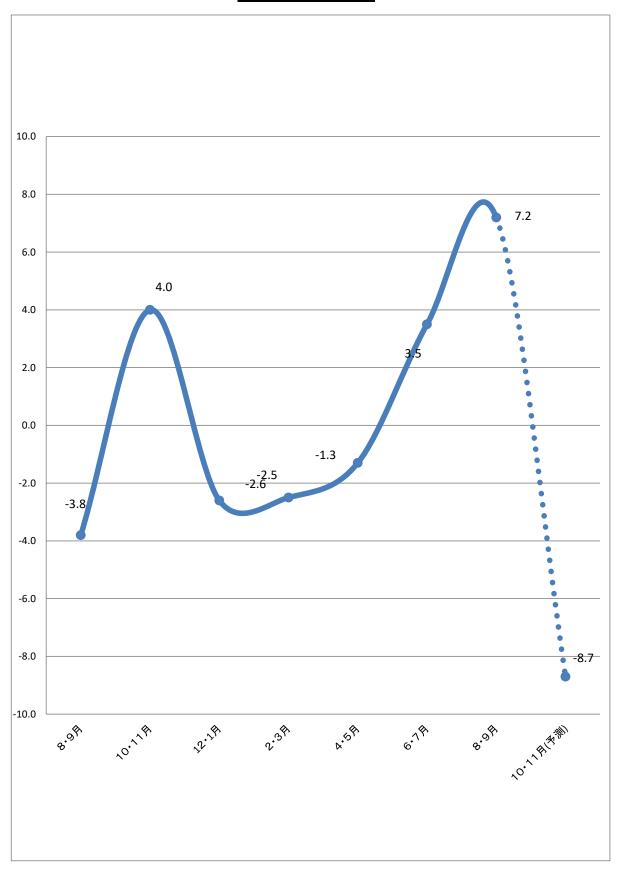
# ◆結果概要

# 【8-9月期の動き】

全体業況は 7.2 と4期連続の改善。 全体的に改善傾向だが従業員不足の声多数。 向こう3ヶ月の業況は ▲ 8.7 と悪化する見通し。

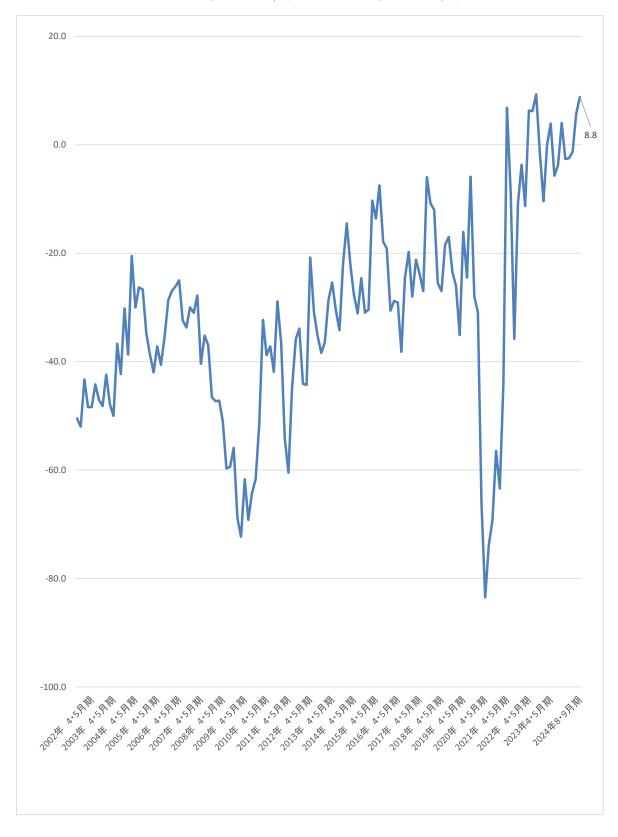
▲65.2(前期比16.2ポイント減)と全体的には	.7ポイント増)と、4期連続の改善となった。仕入単価DIは は改善。従業員DIは38.2(前期比9.1ポイント増)と従業員の不 化する見通し。売上と採算が悪化すると予想されている。
業種別は以下の通り。	
●製造業:業況DI <b>改善</b> ( <u>6.7</u> : 改善: 仕入単価DI 従業員DI 不変: 金融貸出UDI	前期比 6.9 ポイントの減少 <u>)</u> 悪化: 売上DI 採算DI
向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ <b>33.3</b>	と悪化する見通し。
●建設業:業況DI <b>悪化</b> ( <u>▲ 7.7</u> : 改善: 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 不変: 金融貸出UDI	前期比 <u>O.6</u> ポイントの減少 <u>)</u> 悪化: 売上DI
句こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 23.1	と悪化する見通し。
●卸売業:業況DI <b>改善</b> ( <b>14.3</b> : 改善: 売上DI 採算DI 金融貸出UDI 不変: なし	前期比 27.6 ポイントの増加 <u>)</u> 悪化: 仕入単価DI 従業員DI
句こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 7.1	と悪化する見通し。
●小売業:業況DI <b>改善</b> ( <u>▲ 12.5</u> : 改善: 売上DI 採算DI 仕入単価DI 不変: 金融貸出UDI	前期比 13.8 ポイントの増加 <u>)</u> 悪化: 従業員DI
句こう3ヶ月の先行き業況は、 O.O	と改善する見通し。
●サービス業:業況DI <b>悪化</b> ( <u>45.5</u> : 改善: 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 金融 貸出しDI 不変: なし	
<b>向こう3ヶ月の先行き業況は、27.3</b>	と悪化する見通し。

# 業況DIの推移



# 業況DIの推移

# (2002年4.5月期 ~ 2024年8.9月期)

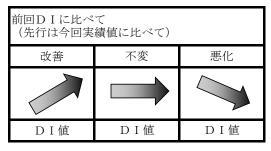


# ◆全業種·業種別詳細

#### ※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、<u>強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。</u>

# ◆指標の見方



※仕入単価DIは、仕入単価が下落した場合、「✓」(改善)と表示しております。 従業員DIは、従業員が不足している場合、「✓」(改善)と表示しております。

# ◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
7.2	<b>▲</b> 8.7	15.9	<b>▲</b> 4.3	<b>▲</b> 65.2	37.7	2.9

全業種総合の業況DIは、 7.2 (前期比 3.7 ポイントの増加)となった。

#### ●項目別(前期比)

売上DI:改善 ( 10.5 → 15.9 ) 従業員DI:改善 ( 29.1 → 37.7 )

採算DI:改善( ▲ 7.0 → ▲ 4.3 ) 金融貸出しDI:改善( 1.2 → 2.9 )

仕入単価DI:改善( ▲ 81.4 → ▲ 65.2 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 8.7 と悪化する見通し。

# ◆業種別

#### ○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
6.7	<b>▲</b> 33.3	6.7	<b>▲</b> 13.3	<b>▲</b> 46.7	13.3	0.0

製造業の業況DIは、

**6.7** 

(前期比

6.9 ポイントの減少)となった。

### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (

9.1  $\rightarrow$  **6.7**  従業員DI:改善(

4.5

**13.3** )

採算DI:悪化(

→ **▲ 13.3** ) 9.1

金融貸出しDI:不変 (

0.0

0.0

仕入単価DI:改善( ▲ 86.4 → ▲ 46.7 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、

▲ 33.3 と悪化する見通し。

#### ○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
<b>▲</b> 7.7	<b>▲</b> 23.1	<b>▲</b> 7.7	<b>▲</b> 23.1	<b>▲</b> 69.2	69.2	0.0

建設業の業況DIは、

**▲** 7.7

(前期比

<u>0.6</u>

ポイントの減少)となった。

#### ●項目別(前期比)

売上DI:悪化( ▲ 7.1 → ▲ 7.7 )

従業員DI:改善(

42.9 **69.2** )

採算DI:改善( ▲ 28.6 → ▲ 23.1 )

金融貸出しDI:不変(

0.0 0.0

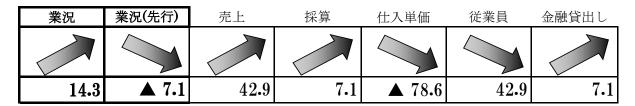
仕入単価DI:改善( ▲ 71.4 → ▲ 69.2 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、

**▲** 23.1

と悪化する見通し。

#### ○卸売業



卸売業の業況DIは、

<u>14.3</u>

(前期比

**27.6** 

ポイントの増加)となった。

# ●項目別(前期比)

売上DI:改善( 13.3 42.9 ) 従業員DI:悪化(

46.7

42.9 )

採算DI:改善(

**▲** 6.7 7.1

金融貸出UDI:改善(

6.7

7.1

)

仕入単価DI:悪化 ( ▲ 66.7 → ▲ 78.6 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、

**▲** 7.1

)

と悪化する見通し。

### ○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
<b>▲</b> 12.5	0.0	0.0	<b>▲</b> 12.5	<b>▲</b> 50.0	25.0	0.0

小売業の業況DIは、

**▲** 12.5

(前期比

<u>13.8</u>

ポイントの増加)となった。

# ●項目別(前期比)

売上DI:改善( **▲** 5.3

0.0

従業員DI:悪化(

26.3

**25.0** )

採算DI:改善( ▲ 26.3 → ▲ 12.5 )

金融貸出しDI:不変(

0.0

0.0

仕入単価DI:改善( ▲ 78.9 → ▲ 50.0 )

向こう3ヶ月の先行き業況は、

0.0 と改善する見通し。

#### ○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
45.5	27.3	45.5	27.3	<b>▲</b> 90.9	45.5	9.1

サービス業の業況DIは、 <u>45.5</u> (前期比 <u>4.5</u> ポイントの減少)となった。

# ●項目別(前期比)

売上DI:改善( 43.8 → 45.5 ) 従業員DI:改善( 37.5 → 45.5 )

採算DI:改善 (  $12.5 \rightarrow 27.3$  ) 金融貸出UDI:改善 (  $0.0 \rightarrow 9.1$  )

仕入単価DI:改善( ▲ 100.0 → ▲ 90.9 )

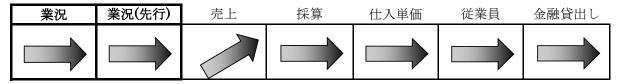
向こう3ヶ月の先行き業況は、 27.3 と悪化する見通し。

## ◆業種別詳細

#### ○製造業(食品)



#### ○製造業(工業製品)



#### ○製造業(宝飾)



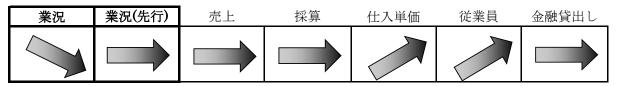
# ○建設業(建築)



## ○建設業(土木)



#### ○建設業(鉄鋼)



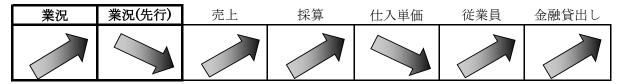
# ○卸売業(食品)



# ○卸売業(繊維)



### ○卸売業(その他)



#### ○小売業(大型店)



#### ○小売業(食品)



# ○小売業(事務用品)



# ○小売業(趣味・日用品)



# ○サービス業(ホテル・旅館)



# ○サービス業(観光)



# ○サービス業(飲食その他)



### ◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

#### 【製造業】

製造業(繊維)

・電気、灯油等の値上がりと資材の値上がりが凄まじい。

売値への転嫁は可能ではあるが小売価格に直接影響があるので積極的に行いにくい。

製造業(食品)

- ・金利引き上げ以降為替が円高に振れ原料価格高騰は一時休止状態・ただし現段階では利益の取りにくい状況に変わりなし。次期も最低賃金大幅増などコスト面は厳しい状況。 製造業(宝飾)
- ・決算を迎えて増収・減益であったため、今期は値上要請を全得意先に対して取り組む。
- ・催事も気温や台風のせいで集客が悪かった。国内の市場もあまり良くない。
- 中国のマーケットも落ち込み始めている。
- ・展示会の回数が減っていて、特に北陸では来場者数がかつての賑わいを取り戻せていない。
- 事業承継が難航している事業所が多く業況回復の兆しは見られない

製造業(工業製品)

・前回調査に引き続き国内・輸出共に堅調である。また仕入単価の上昇は収まりつつある。

#### 【建設業】

建設業(土木)

- ・仕事の話はあるが協力会社も人手不足のため対応できない
- ・資材賃上げの動向がある。民間建築工事の価格転嫁、後期の長期化の理解が進んでいないため スムーズな受発注に至らないケースがある。

建設業(建築)

・職人不足のため、進捗が上がらなく採算が取れなくなってしまっている。

建設業(鉄鋼)

・仕入単価は高値安定、納期変わらず長い。

#### 【卸売業】

卸売業(その他)

- ・企業間格差が広がっており、顧客にも波及している。
- ・円高、原油安の傾向になってきたことから採算ベースが改善されることが期待される。
- 一方で従業員確保がさらに厳しい状況になっており心配材料である。
- ・秋の価格改定、他社競合

#### 【小売業】

小売業(趣味)

- ・時折当店にしかないものを求める人はいるが数量が少なく金額も低い。
- ・変わらず業界は厳しい状況が続いている。

小売業(大型店)

- ・入館者も増加傾向にあり、前年比好調である。
- ・夏季は猛暑により来客者減少。今期はオリンピックや南海トラフ地震臨時情報、台風等で消費マインドが低下していた。 10月以降は秋物、年末商戦が活発になる見込み。店内リニューアルによる集客は好転していく見通し。
- ・コロナ明け一部好調だが店売りは少ない。
- ・8月前半好調。後半の台風によるマイナスをカバーできた。

小売業(食料品)

・猛暑、物価高で消費者の買い控えがある。材料費の値上がりが大変。

小売業(家電)

- ・販売は下がったままで以前には戻らない
- •物価上昇。

#### 【サービス業】

サービス業(観光)

- ・2024年問題に関し働き方改革のため乗務員の採用を進めている。
- ・台風等の天候不良の影響はあったがファミリー層の旅行客は順調に推移した。
- 9月以降は修学旅行等の団体の動きも期待したい。